

# あべともこニュース



## オミクロン株に備える、徹底した検査と予防対策を。

### ◆医療は「基本的人権」

国内の新規感染者数が連日数万人超、自宅療養の方も10万人以上となり感染拡大が止まりません。オミクロン株は潜伏期間が2日程度と短く、無症状でも感染は広がり、倍加スピードも2日と速いが、重症化は少ないといわれています。

1月20日、政府の新型コロナ対策専門家会議で尾身会長が「若い人は重症化しないので、検査せず自宅療養を」と発表。その後「受診せずに自宅」と訂正されましたが、検査は診断上不可欠ですし、受診は、万人に保障された医療を受ける権利です。

この間のコロナ対応が感染症法や特措法等で決められている一方で、医療の保障は一貫して二の次。第3波以降、とりわけ第5波でも多くの在宅死者が出て、検査が受けづらく早期診断、治療が蔑ろにされてきたことへの反省が全くありません。誰もが外来を医療保険で受診できる道が確保されるべきだと思います。



衆議院議員あべともこプロフィール

神奈川県12区（藤沢市・寒川町）  
当選8回、東京大学医学部卒業、  
小児科医、あべともこ子どもクリニック（湘南台）理事長  
現在、厚生労働委員会・沖縄及び北方問題に関する特別委員会委員長、  
原子力問題調査特別委員会委員



https://twitter.com/abe\_tomoko



https://www.facebook.com/abetomoko.jp

あべともこ

検索

あべともこ後援会入会及び、ボランティアスタッフ募集中！



出典：2016/5/30 東洋経済オンライン  
「受け皿見当たらず、「もんじゅ」廃炉の危機」

### ◆第7回LMC研究集会@京都

22日、「LMC研究集会 医療を中心とした街創りWithコロナの時代に」にシンポジストとして参加。LMC（地域医療・介護研究会 Japan）は、人口減少や過疎化の中で、医療従事者が不足している病院を、地域を再生する拠点と考え、地域と共に再生していこうとしているNPOです。政府は、このコロナ禍に先立って、公的公立病院改革と称して急性期病棟の削減を進めようとしてきましたが、改めて医療は地域にとってますます必要不可欠となっていることは明らか。削減よりも充実を図るべきです。



LMC から出版。内容：実際にコロナ患者と対峙してきた看護師を中心に寄稿文、証言

### ◆原発ゴミの再処理は見直しを！

20日、超党派議員連盟「原発ゼロ・再エネ100の会」は、「核燃料サイクル」をテーマにzoom会議を開催。原発の使用済み核燃料を再処理してプルトニウムを取り出し、高速炉で増殖させ再び使用する計画は、1956年以来、失敗続きで「サイクル」の輪はつながりません。

火災事故を起こした高速増殖原型炉「もんじゅ」はついに2016年に廃止決定。既に廃止が決定された東海再処理工場では、高濃度に汚染された廃液を固めるガラス固化技術が完成せず。どちらもまともな稼働実績もないまま廃止作業も難航しています。新たに作る「六ヶ所再処理工場」ではトラブル続きで、竣工は延期続き。どれもこれもうまくいきません。

プルトニウムだけが貯まっていく「再処理」は止めて、「直接処分」への政策転換が必要。既に、米・英は中止。仏でも再処理政策を転換しつつあります。